

利 用 上 の 注 意

この統計表は、統計法（昭和22年法律第18号）に基づく商業統計調査規則（昭和27年通商産業省令第60号）に基づいて平成6年7月1日現在で実施した平成6年商業統計調査の原データを流通経路別に次のように再集計したもの。

1. 集計対象

この統計表の集計対象商店の範囲は次のとおりです。

| | |
|------|----------------------|
| 集計種別 | 法人組織の商店 |
| 業種 | 卸売業（ただし、代理商、仲立業を除く。） |
| 地域 | 全国 |
| 商店数 | 336,794店（集計対象商店） |

（注）平成6年の卸売業合計の商店数は429,302店あるが、本統計表の集計対象は336,794店となっています。この差（92,508店）が生じたのは、代理商・仲立業及び個人商店が集計から除かれているためです。

なお、卸売業合計の占める集計対象分の割合は、商店数が78.5%、年間販売額が98.9%となっています。

2. 流通段階と流通経路別の格付けの方法

流通経路の格付けについては、それぞれの商店ごとに商業統計調査の調査項目「年間商品仕入額の仕入先別割合」と「卸売販売額のうち販売先別割合」のうち最も大きいものの割合によって決めています。

流通段階と流通経路の関係は次のとおりです。（次頁に表）

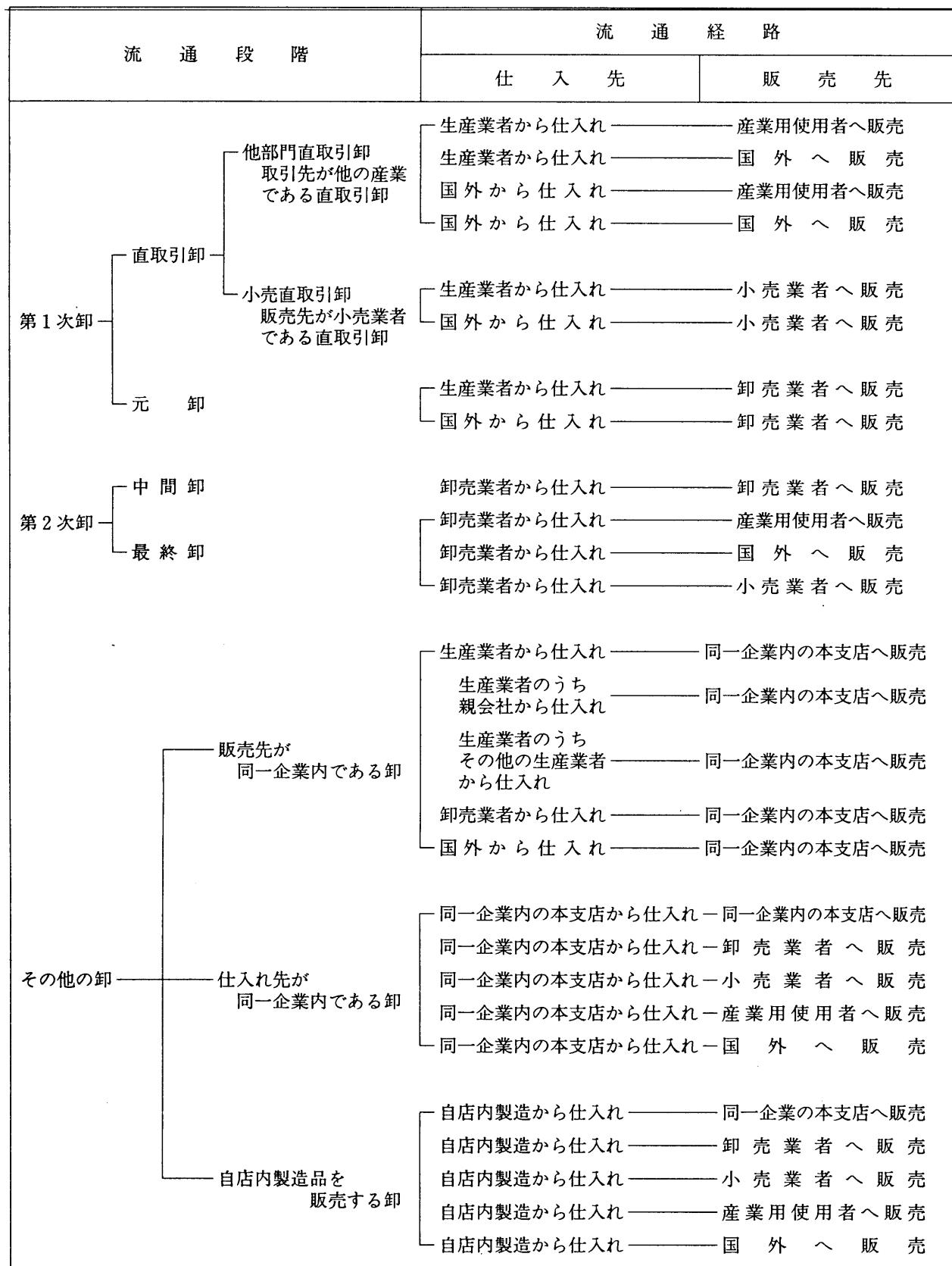
3. 調査期日

調査の期日は平成6年7月1日です。

4. 調査項目及び集計項目の説明

集計に使用した調査項目は、商業統計調査のうち次のものです。

- (1) 従業者……平成6年7月1日現在で、主としてその商店の業務に従事している者をいい、個人事業主、無給家族従業者、会社、団体の有給役員、常時雇用従業者（平成6年5月、6月の2か月間に、それぞれの月に18日以上雇用され、調査日現在も雇用されている臨時及び日雇の従業者を含む。）をいいます。
- (2) 年間販売額……平成5年7月1日から平成6年6月30までの1年間の商品販売額をいいます。なお、年間販売額には消費税を含みます。
- (3) 商品手持額……平成6年7月1日現在で商店が販売の目的で所有している手持商品の金額をいいます。手持ち商品の評価は原則として仕入原価によります。
- (4) 仕入先別割合
 - 自店内製造……商店がその場所で製造した製品の原価割合
 - 本支店間移動……自企業において他の場所にある本支店及び支店相互間取引並びに自企業の他の場所にある工場で製造した製品又は商品の工場と本支店間取引による仕入額の割合。
- 生産業者……製造業・鉱業などの生産者から直接その生産品を仕入れた仕入額の割合。親会社とその他の生産業者に分けられます。



卸売業者・その他……他企業の卸売業者・小売業者から仕入れたもののほか、中古品、くず物等を購入した金額の割合。

国 外……自己の名で通関手続を行って商品を仕入れた仕入額の割合。

都道府県別……国外を含む仕入額の都道府県別仕入額の割合。

(5) 販売先別割合

本支店間移動……自企業内において他の場所にある本支店間及び支店相互間取引（自分の持っている他の支店に商品を送った場合など）による販売の割合。

卸売業者……他の卸売業者へ卸売した販売額の割合。

小売業者……小売業者へ卸売した販売額の割合。

産業用使用者……鉱工業・サービス業・官公庁などに業務用として原材料・設備などを卸売した販売額の割合。

国 外……自己の名で通関手続を行って商品を直接外国に販売した販売額の割合。

都道府県別……国外を含む都道府県別卸売販売額の割合。

5. 従業者規模区分

1~2人

3~4人

5~9人

10~19人

20~49人

50~99人

100~199人

200人以上

なお、従業者規模別集計は、流通段階別（統計編第3表）のみ行いました。

6. 産業

日本標準産業分類のうち卸売業を小分類（3桁）16業種、細分類（4桁）80業種に区分しております。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| (1) 481 各種商品卸売業 | (12) 4923 下着類卸売業 |
| (2) 4811 各種商品卸売業(従業者が常時100人以上のもの) | (13) 4924 寝具類卸売業 |
| | (14) 4925 靴卸売業 |
| (3) 4819 その他の各種商品卸売業 | (15) 4926 履物卸売業（靴を除く） |
| (4) 491 繊維品卸売業（衣服、身の回り品を除く） | (16) 4927 かばん・袋物卸売業 |
| (5) 4911 生糸・繭卸売業 | (17) 4929 その他の衣服・身の回り品卸売業 |
| (6) 4912 繊維原料卸売業（生糸、繭を除く） | (18) 501 農畜産物・水産物卸売業 |
| (7) 4913 糸卸売業 | (19) 5011 米麦卸売業 |
| (8) 4914 織物卸売業（室内装飾織維品を除く） | (20) 5012 雑穀・豆類卸売業 |
| (9) 492 衣服・身の回り品卸売業 | (21) 5013 野菜卸売業 |
| (10) 4921 男子服卸売業 | (22) 5014 果実卸売業 |
| (11) 4922 婦人・子供服卸売業 | (23) 5015 食肉卸売業 |

| | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| (24) 5016 生鮮魚介卸売業 | (61) 5211 農業用機械器具卸売業 |
| (25) 5019 その他の農畜産物・水産物卸売業 | (62) 5212 建設機械・鉱山機械卸売業 |
| (26) 502 食料・飲料卸売業 | (63) 5213 金属加工機械卸売業 |
| (27) 5021 砂糖卸売業 | (64) 5214 事務用機械器具卸売業 |
| (28) 5022 味そ・しょう油卸売業 | (65) 5219 その他の一般機械器具卸売業 |
| (29) 5023 酒類卸売業 | (66) 522 自動車卸売業 |
| (30) 5024 乾物卸売業 | (67) 5221 自動車卸売業（二輪自動車を含む） |
| (31) 5025 缶詰・瓶詰食品卸売業（気密容器入りのもの） | (68) 5222 自動車部分品・附属品卸売業 |
| (32) 5026 菓子・パン類卸売業 | (69) 523 電気機械器具卸売業 |
| (33) 5027 清涼飲料卸売業 | (70) 5231 家庭用電気機械器具卸売業 |
| (34) 5028 茶類卸売業 | (71) 5232 電気機械器具卸売業（家庭用電気機械器具を除く） |
| (35) 5029 その他の食料・飲料卸売業 | (72) 529 その他の機械器具卸売業 |
| (36) 511 建築材料卸売業 | (73) 5291 輸送用機械器具卸売業（自動車を除く） |
| (37) 5111 木材・竹材卸売業 | (74) 5292 精密機械器具卸売業 |
| (38) 5112 セメント卸売業 | (75) 5293 医療用機械器具卸売業（歯科用機械器具を含む） |
| (39) 5113 板ガラス卸売業 | (76) 531 家具・建具・じゅう器等卸売業 |
| (40) 5119 その他の建築材料卸売業 | (77) 5311 家具・建具卸売業 |
| (41) 512 化学製品卸売業 | (78) 5312 荒物卸売業 |
| (42) 5121 塗料卸売業 | (79) 5313 料卸売業 |
| (43) 5122 染料・顔料卸売業 | (80) 5314 室内装飾繊維品卸売業 |
| (44) 5123 油脂・ろう卸売業 | (81) 5315 陶磁器・ガラス器卸売業 |
| (45) 5124 火薬類卸売業 | (82) 5319 その他のじゅう器卸売業 |
| (46) 5129 その他の化学製品卸売業 | (83) 532 医薬品・化粧品等卸売業 |
| (47) 513 鉱物・金属材料卸売業 | (84) 5321 医薬品卸売業 |
| (48) 5131 石炭卸売業 | (85) 5322 医療用品卸売業 |
| (49) 5132 石油卸売業 | (86) 5323 化粧品卸売業 |
| (50) 5133 金属鉱物卸売業 | (87) 5324 合成洗剤卸売業 |
| (51) 5134 非金属鉱物卸売業（石炭、石油を除く） | (88) 539 他に分類されない卸売業 |
| (52) 5135 鉄鋼卸売業 | (89) 5391 紙・紙製品卸売業 |
| (53) 5136 非鉄金属卸売業 | (90) 5392 金物卸売業 |
| (54) 514 再生資源卸売業 | (91) 5393 薪炭卸売業 |
| (55) 5141 空瓶・空缶等空容器卸売業 | (92) 5394 肥料・飼料卸売業 |
| (56) 5142 鉄スクラップ卸売業 | (93) 5395 スポーツ用品・娯楽用品・がん具卸売業 |
| (57) 5143 非鉄金属スクラップ卸売業 | (94) 5396 たばこ卸売業 |
| (58) 5144 古紙卸売業 | (95) 5397 貴金属製品卸売業（宝石を含む） |
| (59) 5149 その他の再生資源卸売業 | (96) 5399 他に分類されないその他の卸売業 |
| (60) 521 一般機械器具卸売業 | |

7. 集計方法

(1) 延商店数

1商店で仕入先、販売先が2つ以上ある場合の仕入先別、販売先別の商店数計はその累計（延数）となります。

(2) 仕入額及び販売額の算出

① 仕入先別の年間仕入額

仕入先別割合の金額は事業所単位で調査していないため、「年間商品仕入額」を便宜上、調査項目中の「6-1. 年間商品販売額」の合計に「14. 年間商品仕入額の仕入先別割合（%）」を乗じて算出しています。

(イ) 仕入先別（業者別）の年間仕入額……仕入先の業者別割合×年間商品販売額

(ロ) 仕入先別（都道府県別）の年間仕入額……仕入先の都道府県別割合×年間商品販売額

② 販売先別の年間販売額

(イ) 販売先別（業者別）の年間販売額……販売先別の業者別割合×卸年間販売額

(ロ) 販売先別（都道府県別）の年間販売額……販売先別の都道府県別割合×卸年間販売額

(ハ) 販売先別（消費者）の年間販売額……卸業者の小売年間販売額

8. 金額単位

年間販売額及び商品手持額の単位は、百万円です。

9. 四捨五入

統計数字は、各段階ごとに単位未満を四捨五入しています。したがって、内訳と合計が一致しないこともあります。

10. その他

(1) 統計表の数値は、日本標準産業分類の改訂（平成5年10月改訂）に伴い、改訂後の産業分類により作成しています。なお、主な変更点は次のとおりです。

① 木材、セメント、板ガラスなどの「建築材料」及びワードプロセッサ、卓上電子計算機などの「家庭用電気事務機械器具」、また、タイプライタ、金庫などの「家庭用事務機械器具」については、従来小売業における分類格付けがないため、その小売りについても便宜上卸売業（みなし卸）に分類していましたが、小売における業態が確立・増大してきたため、「5993建築材料小売業」を新設するとともに、ワードプロセッサ、卓上電子計算機などの「家庭用電気事務機械器具」については「5841家庭用電気機械器具小売業」に、また、タイプライタ、金庫などの「家庭用事務機械器具」については「5842家庭用機械器具小売業（家庭用電気機械器具を除く）」に位置付けることとしました。

② 改訂については巻末の「日本標準産業分類新旧対応表」を参照してください。

(2) この統計表中の記号は、次のとおりです。

- ・「χ」は、その数字に該当する商店数が1又は2であるため、個々の申告者の秘密保護の観点から数字を秘匿したことを示したものです。なお、この秘匿によっても数値χが算出される恐れのあるものについては、商店数が3以上でも「χ」で秘匿した箇所があります。

- ・「-」は、該当がないもの又は調査していないものです。

- ・「▲」は、減少したものです。

- ・「0」及び「0.0」は、単位未満のものです。

(3) 長崎県島原市及び同県南高来群深江町については、雲仙普賢岳噴火に伴う災害のため調査が実施されていません。

いことから、平成3年数値（商店数、従業者数、年間販売額等）には含まれておりません。

(4) この統計表に掲載された数字を他に転載する場合は、通商産業省編「平成6年商業統計表流通経路別統計編

（卸売業）」による旨明記してください。

(5) この統計表の内容についてのお問い合わせは、下記のところにお寄せください。

郵便番号 100 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号

通商産業大臣官房調査統計部商業統計課

電話 03(3501)1511 内線2385~6

概況

1. 年間販売額

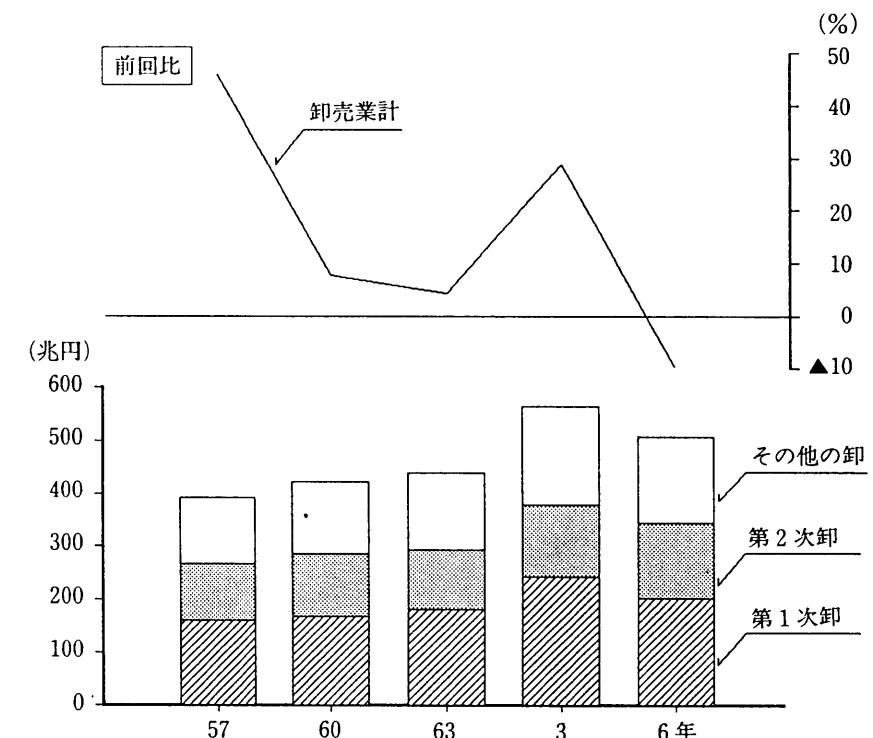
——直取引卸、最終卸の販売額構成比がすべての財で拡大——

(1) 平成6年商業統計調査（平成6年7月1日現在）における代理商、仲立業を除く全国の法人卸売商店（以下同じ）の年間販売額は（第1表、第1図）、508兆7009億円、前回の平成3年調査（平成3年7月1日現在、以下「3年」という）に比べ、▲9.9%と昭和43年の本統計編刊行以来初めての減少となった。これは、引き続く設備投資の減退及び個人消費の鈍化などから需要が総じて低迷したことによる。

流通段階別にみると、第1次卸（仕入先が生産業者または国外のもの）の販売額は202兆4016億円、同▲16.1%の減少となった。第2次卸（仕入先が卸売業者のもの）は142兆206億円、同4.0%の増加、その他の卸（仕入先または販売先が本支店間のもの及び仕入先が自店内製造業のもの）は164兆2787億円、同▲12.1%の減少となった。

構成比をみると、第1次卸が39.8%、その他の卸が32.3%を占め、それぞれ前回と比べ▲2.9ポイント、同▲0.8ポイントの縮小となったが、第2次卸は27.9%と同3.7ポイントの拡大となった。

第1図 卸売業の流通段階別年間販売額の推移



第1次卸の内訳をみると、直取引卸（仕入先が生産業者または国外で、販売先が産業用使用者または国外、小売業者とのもの）は、小売直取引卸が前回比12.8%の増加となったものの、他部門直取引卸が同▲19.1%の減少となったことから、全体として同▲9.0%の減少となった。また、元卸（仕入先が生産業者または国外で、販売先が卸売業者とのもの）は同▲30.5%の減少となった。

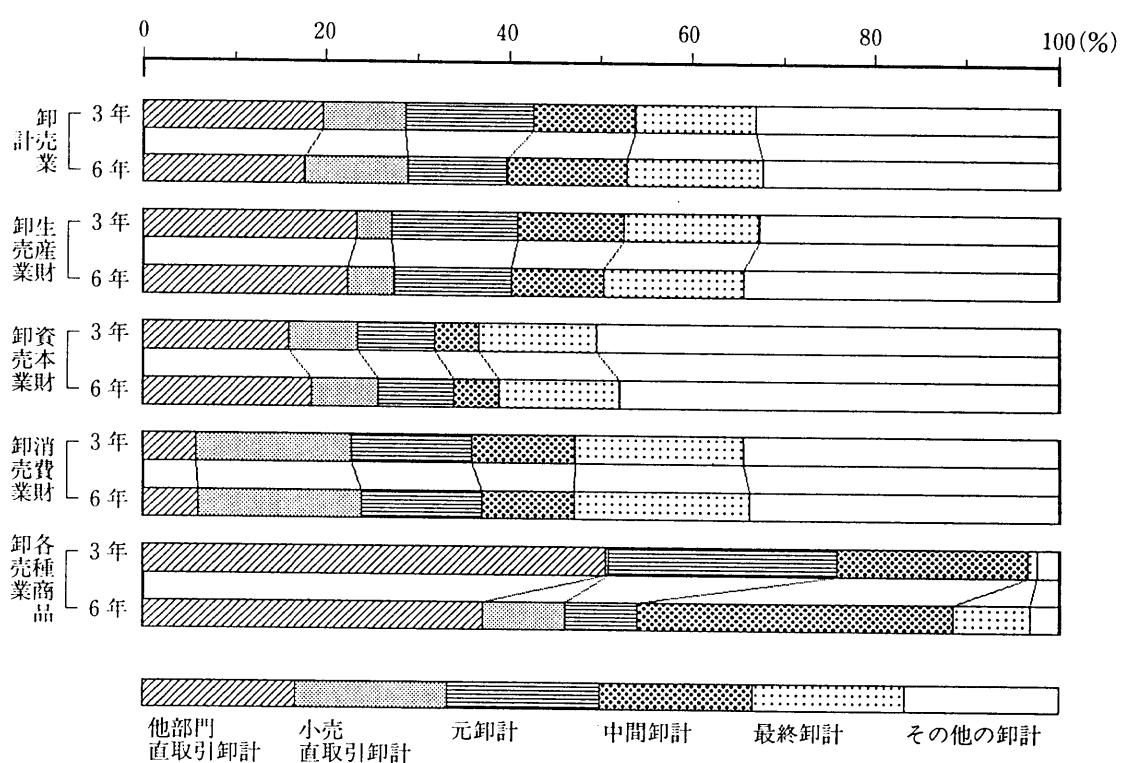
第1次卸の仕入先を国内外別にみると（第2表）、国内仕入卸の販売額は前回比▲9.7%、国外仕入（輸入）卸は同▲57.3%と前回の2桁増からともに減少に転じた。構成比でみると、国内仕入卸の販売額は93.2%（前回差6.5ポイント拡大）を占め、国外仕入卸は6.8%とその構成比は前回の約2分の1に縮小した。ちなみに、通関統計による輸入額も減少に転じている。また、国内仕入卸、国外仕入卸とも産業用使用者、卸売業者及び国外向け販売額が2桁減と大きく落ち込んだが、小売業者向け販売額は国内外仕入卸ともに2桁の増加となっている。

第2次卸の内訳をみると（第1表）、中間卸（仕入先、販売先ともに卸売業者とのもの）は、前回比5.8%と前回の2桁増から伸びは鈍化、最終卸（仕入先が卸売業者で販売先が産業用使用者、国外、または小売業者のもの）も、同2.5%と小幅な伸びとなった。また、第2次卸で販売額が増加した流通経路は、卸売業者から卸売業者向け及び小売業者向け販売である。特に後者は2桁の増加（同10.9%増）となり、第2次卸における増加寄与も後者が若干上回るなど、流通構造の変化がうかがえよう。

その他の卸の内訳をみると、販売先本支店間卸が前回比▲5.9%の減少、仕入先本支店間卸は同▲13.0%の減少、仕入先自店内製品卸は同19.2%の増加となった。

(2) 財別に流通段階別の年間販売額をみると、各種商品卸売業は（第3表、第2図）、91兆7074億円、前回比▲7.1%の減少となった。第1次卸は直取引卸、元卸とも2桁の減少となったことにより、49兆5728億円、同▲33.8%と大幅な減少となった。構成比をみると、直取引卸が46.2%（前回差▲4.7ポイント縮小）、元卸が7.9%（同▲17.0ポイント縮小）となったことから、第1次卸は同▲21.7ポイントと大幅に縮小し、54.1%を占めることとなった。第2次卸は中間卸、最終卸とも著しく増加したことにより、39兆2156億円、前回比81.7%と大幅な増加となった。これを構成比でみると、中間卸が34.5%（前回差13.7ポイント拡大）、最終卸は8.2%（同7.1ポイント拡大）となったことから、第2次卸は42.8%（同20.9ポイント拡大）と構成比は前回の約2倍となった。その他の卸は2兆9190億円、前回比26.4%の増加、構成比は3.2%、前回差0.9ポイントの拡大となった。

第2図 卸売業の流通段階別財別年間販売額の構成比



生産財卸売業（繊維品、化学製品、鉱物・金属材料、再生資源卸売業）の年間販売額は（第3表、第2図）、79兆1830億円、前回比▲23.1%と大幅な減少に転じた。第1次卸は直取引卸、元卸とも著しく減少したことにより、31兆8997億円、前回比▲24.3%と2桁の減少に転じた。なお、直取引卸のうち小売直取引卸は、同0.7%とわずかながら増加に転じている。構成比をみると、直取引卸が27.5%（前回差0.3ポイント拡大）、元卸が12.8%（同▲1.0ポイント縮小）となったことから、第1次卸は40.3%（同▲0.7ポイント縮小）となった。第2次卸はすべての流通経路で2桁の減少に転じたことにより20兆424億円、前回比▲26.1%の大幅な減少となった。構成比をみると、中間卸が10.0%（前回差▲1.6ポイント縮小）、最終卸が15.3%（同0.6ポイント拡大）となったことから、第2次卸は25.3%（同▲1.1ポイント縮小）となった。その他の卸は27兆2408億円、前回比▲19.1%と2桁の減少に転じたが、構成比は34.4%、前回差1.7ポイントの拡大となった。

資本財卸売業（建築材料、機械器具卸売業）は（第3表、第2図）、142兆1297億円、前回比▲12.1%と2桁の減少に転じた。第1次卸は直取引卸、元卸とも減少に転じたことにより48兆2968億円、前回比▲6.6%の減少となった。これを構成比でみると、直取引卸が25.8%（前回差2.3ポイント拡大）、元卸が8.2%（同▲0.3ポイント縮小）となったことから、第1次卸は34.0%（同2.0ポイント拡大）となった。第2次卸はすべての流通経路で減少に転じたことにより25兆6850億円、前回比▲9.7%の減少となった。構成比をみると、中間卸が5.0%（前回差0.2ポイント拡大）、最終卸が13.1%（同0.3ポイント拡大）となったことから、第2次卸は18.1%（同0.5ポイント拡大）となった。その他の卸は68兆1479億円、前回比▲16.5%と2桁の減少に転じた。構成比でみると縮小傾向にあり、平成6年には47.9%、前回差▲2.5ポイントの縮小となった。

消費財卸売業（衣服・身の回り品、農畜産物・水産物、食料・飲料、家具・建具・じゅう器等、医薬品・化粧品等、他に分類されない卸売業）は（第3表、第2図）、195兆6808億円、前回比▲2.7%と減少に転じたものの、他の財に比べ下げ幅は小さい。第1次卸は72兆6323億円、前回比0.3%の微増となった。うち、直取引卸は同1.8%の増加、元卸は同▲2.5%の減少となった。これを構成比でみると、直取引卸は23.9%（前回差1.1ポイント拡大）、元卸は13.2%（前回差横ばい）となったことから、第1次卸は37.1%（同1.1ポイント拡大）となった。

第2次卸は57兆776億円、同▲3.8%の減少に転じた。うち、中間卸は農畜産物・水産物卸売業の落ち込みにより同▲12.5%と2桁の減少に転じたが、最終卸は農畜産物・水産物卸売業の伸びにより同1.5%の増加となった。このような農畜産物・水産物卸売業の動きは、近年、大口需要家（量販店、外食チェーンなど）を中心に仲卸業者を通さない予約取引が増加していること、商社による直接買付けや量販店の台頭による产地直送など、市場を通さない市場外流通が増えてきていることなどによると考えられる。構成比をみると、中間卸が10.1%（前回差▲1.1ポイント縮小）、最終卸が19.1%（同0.8ポイント拡大）となったことから、第2次卸は29.2%（同▲0.3ポイント縮小）となった。その他の卸は65兆9709億円、前回比▲4.8%と減少に転じた。構成比は33.7%、前回差▲0.8ポイントの縮小となった。

流通段階別年間販売額の特徴としては、流通経路の短い直取引卸、最終卸の構成比が拡大したことが挙げられる（直取引卸、最終卸は多段階の卸売店を経由せず、直接、消費者、国外に販売することから流通経路が短いといえる）。財別にみると、各種商品卸売業は第1次卸が構成比を大幅に縮小したのに対し、第2次卸が大幅に拡大したこと、生産財、消費財は第2次卸の構成比が縮小したが、資本財は拡大したこと、また、資本財は他の財に比べその他の卸の販売額構成比が高いことも特徴に挙げられる。

卸売業に占める財別の年間販売額の構成比をみると、生産財が15.6%（前回差▲2.6ポイント縮小）、資本財が27.9%（同▲0.7ポイント縮小）とともに縮小したのに対し、各種商品卸売業は18.0%（前回差0.5ポイント拡大）、消費財は38.5%（同2.9ポイント拡大）とともに割合は拡大している。

(3) 業種別流通段階別の年間販売額構成比をみると（第4表）、直取引卸の割合が大きい業種は各種商品卸売業（46.2%）、衣服・身の回り品卸売業（35.7%）となっている。次いで、化学製品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、他に分類されない卸売業、食料・飲料卸売業の順となっており、特に消費財に関連する業種で直取引卸の割合が大きい。医薬品・化粧品等卸売業、機械器具卸売業は、仕入先本支店間卸を中心にその他の卸の割合が過半を占めている。機械器具卸売業では、部品などを系列の工場から調達する場合や、問屋がメーカーの販売会社である場合が考えられる。また、再生資源卸売業、農畜産物・水産物卸売業は最終卸の構成比が高く、特に、再生資源卸売業は、卸売業者から産業用使用者向けの販売構成比が高い。これは、自治体、清掃会社、企業や一般消費者から回収されたアルミ缶、古紙などが、スクラップ問屋や回収業者から二次合金メーカー、製紙メーカー等にわたるためと考えられる。

業種別流通段階別の年間販売額構成比を3年と比較すると（第3表）、機械器具卸売業、食料・飲料卸売業では直取引卸の構成比が拡大、それ以外の流通段階で縮小となり、流通経路の短縮化の傾向がみられる。なかでも、食料・飲料卸売業は小売直取引卸が2桁増（前回比13.7%増）となっている。これは、近年のスーパーなどの大型店、コンビニエンス・ストアなどの新業態店の進展によるジャスト・イン・タイムの配送、多頻度・小口・多品種配送等高度な物流システム構築の必要性の高まりを背景に、情報化による受・発注管理、仕分け、包装加工、値付け、集品、配車手配等の機能をもった配送センター等が拡充されていると考えられる。そこで、食料・飲料卸売業の小売直取引卸の商店規模をみると、1商店当たりの年間販売額は同13.9%増、1商店当たりの従業者数は同8.3%増と大型化の傾向がみられる。また、繊維品卸売業はすべての流通段階で年間販売額が大幅な減少となったものの、短い流通経路の直取引卸や最終卸とその他の卸の構成比が拡大（全体で前回差6.7ポイント拡大）し、元卸と中間卸が縮小となるなど、流通構造の変化がうかがわれる。

(4) 流通段階別従業者規模別に年間販売額構成比をみると（第5表）、すべての流通段階で、100人以上と5~49人の構成比が高く、両規模を合わせると8~9割近くを占めている。構成比を3年と比べると、直取引卸では5~49人、50~99人で拡大、元卸では1~4人、5~49人、50~99人で拡大、中間卸と最終卸では100人以上で拡大、その他の卸では5~49人、50~99人で拡大となっている。このように、第1次卸は5~49人、50~99人で拡大、第2次卸では大規模店で拡大となっている。

2. 商店数

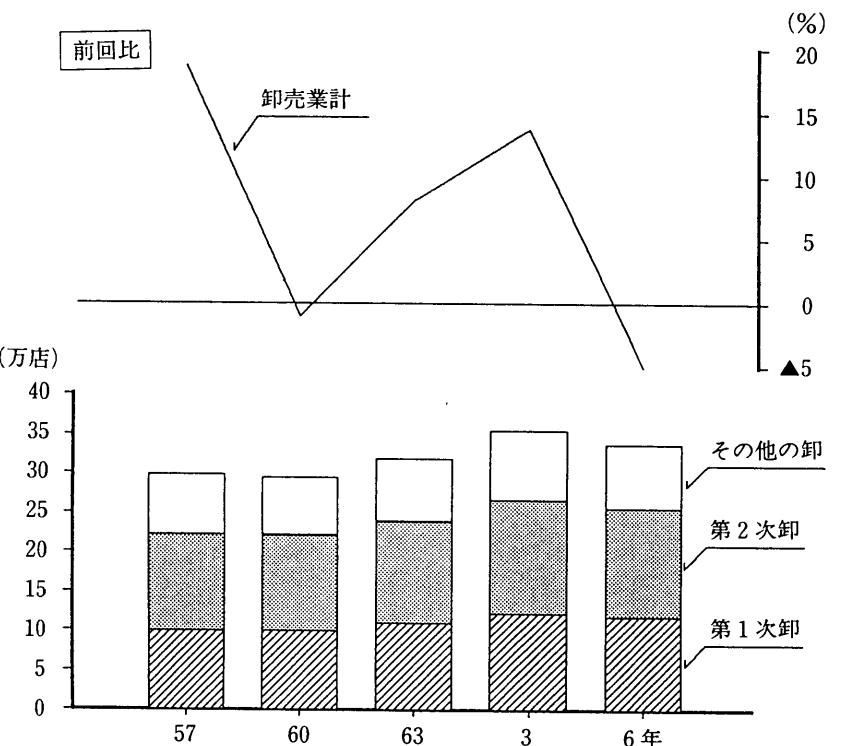
—— すべての流通段階で減少に転じた商店数 ——

(1) 平成6年の卸売商店数（法人）は（第1表、第3図）、33万6794店、前回比▲5.0%と昭和43年の本統計編刊以来、60年に次いで2回目の減少となった。

これを流通段階別にみると、第1次卸は11万7863店、同▲3.3%の減少、第2次卸は13万7872店、同▲4.5%の減少、その他の卸は8万1059店、同▲8.1%の減少とすべての流通段階で3年の2桁増から減少に転じた。

構成比をみると、第1次卸は35.0%、第2次卸は40.9%を占め、それぞれ前回差0.6ポイント、0.2ポイントの拡大となったが、その他の卸は24.1%、同▲0.8ポイントの縮小となった。

第3図 卸売業の流通段階別商店数の推移



第1次卸の内訳をみると、直取引卸は前回比▲3.1%の減少、元卸は同▲3.7%の減少となった。なお、第1次卸では生産業者から産業用使用者向けを除いたすべての流通経路で商店数が減少しており、なかでも生産業者から小売業者向け及び卸売業者向けの商店数は同▲4.5%の減少となり、これは第1次卸の減少寄与の約8割にあたる。

第1次卸の仕入先を国内外別にみると（第2表）、国内仕入商店は前回比▲3.2%、国外仕入（輸入）商店は同▲5.2%とそれぞれ減少となった。構成比でみると、国内仕入は93.9%（前回差0.2ポイント拡大）、国外仕入は6.1%（同▲0.2ポイント縮小）となった。

第2次卸の内訳をみると（第1表）、中間卸は前回比▲5.4%、最終卸は同▲4.3%と、それぞれ減少となった。

その他の卸の内訳をみると、販売先本支店間卸が前回比▲6.7%と引き続き減少、仕入先本支店間卸は同▲8.4%と前回の2桁増から減少に転じ、仕入先自店内製造品卸は同5.4%と引き続き増加となった。

(2) 財別に流通段階別の商店数をみると（第6表、第4図）、各種商品卸売業は1069店、前回比54.3%と大幅な増加となった。このうち、第1次卸が388店、同39.6%増加、第2次卸が556店、同74.8%の増加、その他の卸が125店、同28.9%の増加と、すべての流通段階で2桁の増加となった。構成比をみると、第1次卸は36.3%（前回差▲3.8ポイント縮小）、その他の卸は11.7%（同▲2.3ポイント縮小）とともに縮小したが、第2次卸が52.0%（同6.1ポイント拡大）と各種商品卸売業の過半を占めている。

生産財卸売業の商店数は4万5478店、前回比▲10.6%と減少となった。第1次卸は1万7861店、前回比▲5.9%の減少となり、第2次卸は1万9063店、同▲14.2%、その他の卸は8554店、同▲11.4%とともに2桁の減少となった。構成比は、第1次卸が39.3%、前回差2.0ポイントの拡大となったが、商店数が前回比で2桁減となった第2次卸は41.9%、同▲1.8ポイントの縮小、その他の卸は18.8%、同▲0.2ポイントの縮小と、ともに構成比は縮小した。

資本財卸売業の商店数はすべての流通段階で減少となったことから、12万6972店、前回比▲5.9%と前回の2桁増から減少に転じた。構成比をみると、第1次卸は31.8%（前回差0.3ポイント拡大）、第2次卸は39.3%（前回差0.7ポイント拡大）、その他の卸は28.9%（同▲1.0ポイント縮小）となった。

消費財卸売業の商店数は16万3275店、前回比▲2.8%と前回の2桁増から減少に転じた。第1次卸は5万9280店、前回比▲1.4%の減少、第2次卸は6万8344店、同▲2.1%の減少、その他の卸は3万5651店、同▲6.5%の減少となった。構成比をみると、第1次卸は36.3%（前回差0.5ポイント拡大）、第2次卸は41.9%（同0.4ポイント拡大）、その他の卸は21.8%（同▲0.9ポイント縮小）となった。

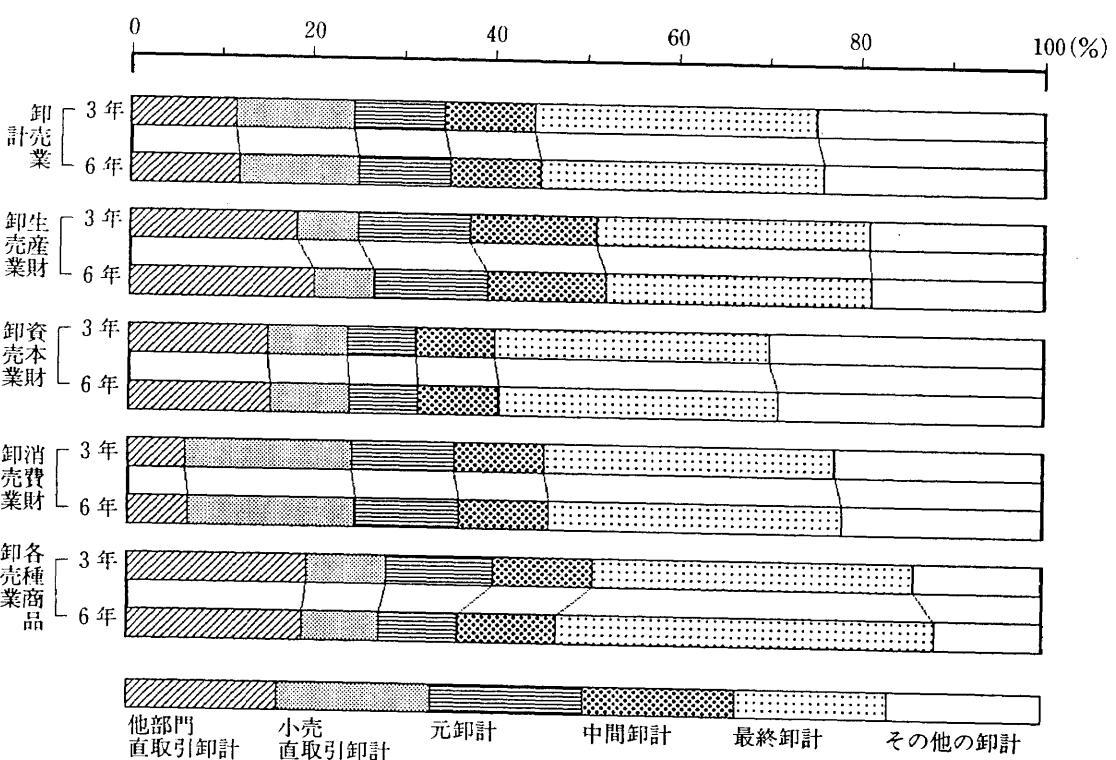
流通段階別商店数の特徴は、各種商品卸売業で第2次卸の構成比が大幅に拡大したこと、すべての財で第1次卸の構成比が拡大、その他の卸が縮小したこと、さらに資本財は他の財に比べその他の卸の商店数の構成比が高いことが挙げられる。

卸売業に占める財別の商店数の割合をみると、各種商品卸売業が0.3%（前回差0.1ポイント拡大）、生産財が13.5%（前回差▲0.8ポイント縮小）、資本財が37.7%（同▲0.4ポイント縮小）、消費財が48.5%（同1.1ポイント拡大）と消費財を取り扱う商店が約半数を占めている。

(3) 業種別流通段階別の商店数構成比をみると（第6表、第7表）、最終卸の割合の高い業種が多く、最も高いのは農畜産物・水産物卸売業（48.0%）、次いで、各種商品卸売業、建築材料卸売業、鉱物・金属材料卸売業、他に分類されない卸売業、再生資源卸売業、食料・飲料卸売業の順となっており、13業種中7業種で最終卸の構成比が3割を超える。なかでも、各種商品卸売業は最終卸のみが構成比を拡大しており、流通経路の短縮化の傾向がうかがえる。直取引卸が多い業種は化学製品卸売業（35.3%）、衣服・身の回り品卸売業（35.0%）とともに3割を超える。なかでも、化学製品卸売業は直取引卸のみが構成比を拡大しており、流通経路の短縮化の傾向がうかがえる。その他の卸が多い業種は医薬品・化粧品等卸売業（38.0%）、機械器具卸売業（35.1%）、食料・飲料卸売業（30.8%）でいずれも3割を超えている。

(4) 流通段階別従業者規模別に商店数構成比をみると（第5表）、すべての流通段階で49人以下が95%以上を占めている。構成比を3年と比較すると、直取引卸は5~49人で縮小、元卸は5~49人、100人以上で縮小、中間卸はほぼ変わらず、最終卸とその他の卸は1~4人で縮小となっており、総じて比較的小規模店で縮小となっている。

第4図 卸売業の流通段階別財別商店数の構成比



3. 従業者数

— 商店規模の拡大がみられる卸売業 —

平成6年の卸売商店(法人)の従業者数は(第1表、第5図)、430万1568人、前回比▲2.1%の減少となった。流通段階別にみると、第1次卸は170万4418人、前回比▲1.1%の減少、第2次卸は141万7204人、同▲1.5%の減少、その他の卸は117万9946人、同▲4.3%の減少とすべての流通段階で減少となった。これを構成比でみると、第1次卸は39.6%(前回差0.4ポイント拡大)、第2次卸は32.9%(同0.2ポイント拡大)、その他の卸は27.4%(同▲0.6ポイント縮小)となった。

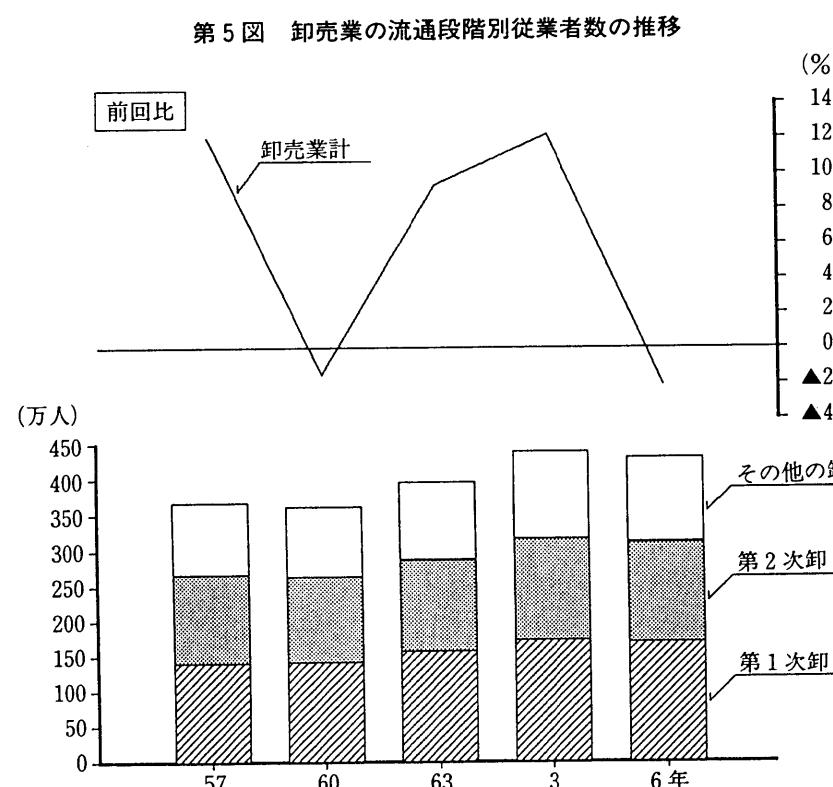
第1次卸の内訳をみると、直取引卸が124万9160人、前回比▲0.1%の減少、元卸が45万5258人、同▲3.8%の減少となり、構成比においては、生産業者から産業用使用者向けの従業者数が増加したことにより、直取引卸が29.0%(前回差0.5ポイント拡大)、元卸は10.6%(同▲0.2ポイント縮小)となった。

第2次卸の内訳をみると、中間卸は36万8726人、前回比▲1.8%の減少、最終卸は104万8478人、同▲1.3%の減少となり、構成比は中間卸が8.6%(前回差0.1ポイント拡大)、最終卸は24.4%(同0.2ポイント拡大)となった。

その他の卸の内訳をみると、販売先本支店間卸は11万5776人、前回比▲3.8%の減少、仕入先本支店間卸は104万309人、同▲4.8%の減少、仕入先自店内製造品卸は2万3861人、同25.7%の増加となった。これを構成比でみると、販売先本支店間卸は2.7%(前回差横ばい)、仕入先本支店間卸は24.2%(同▲0.7ポイント縮小)、仕入・先自店内製造品卸は0.6%(同0.2ポイント拡大)となった。

第1次卸の仕入先を国内外別にみると(第2表)、国内仕入卸は161万4057人、前回比▲0.7%の減少、国外仕入卸は9万361人、同▲7.9%の減少といずれも従業者数が減少となっている。

1商店当たりの従業者数を流通段階別にみると(第1表、第6図)、第1次卸、第2次卸、その他の卸いずれにおいても増加となった。第1次卸は14.5人で前回差0.4人の増加、そのうち直取引卸が14.9人で同0.5人の増加、



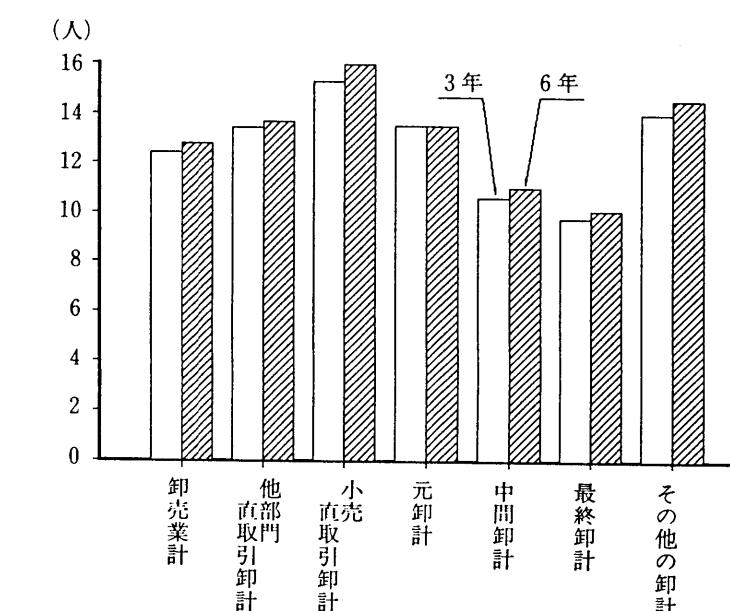
元卸は前回同様13.5人となった。また、仕入先を国内外別にみると(第2表)、国内仕入卸は14.6人で同0.4人の増加、国外仕入卸は12.5人、同▲0.3人の減少となり、商店規模は国内仕入卸で拡大、国外仕入卸で縮小の傾向にある。

第2次卸は(第1表)、10.3人で同0.3人の増加、うち、中間卸が11.0人で同0.4人の増加、最終卸が10.1人で同0.3人の増加となっている。

その他の卸は14.6人、同0.6人の増加となり、その内訳もすべて増加となった。

このように1商店当たりの従業者数の増加から、総じて商店規模の拡大がうかがえる。

第6図 卸売業の流通段階別1商店当たりの従業者数



4. 販売効率

— 1商店当たり、従業者1人当たりの年間販売額はともに第2次卸が増加 —

(1) 1商店当たりの年間販売額を流通段階別にみると(第8表、第7図)、第1次卸は直取引卸が17億5300万円、前回比▲6.1%の減少、元卸は16億2800万円、同▲27.8%の減少となり、全体では17億1700万円、同▲13.2%の減少となった。うち、国外仕入は小売業者向けを除いた流通経路すべて減少、国内仕入は国外向け、小売業者向けを除く流通経路で減少となった。

第2次卸は卸売業者から卸売業者向け及び小売業者向けが増加したことにより、中間卸が19億8000万円、同11.8%の増加、最終卸も7億2500万円、同7.1%の増加となり、全体では10億3000万円、同9.0%の増加となった。

その他の卸は、20億2700万円、同▲4.3%の減少となった。

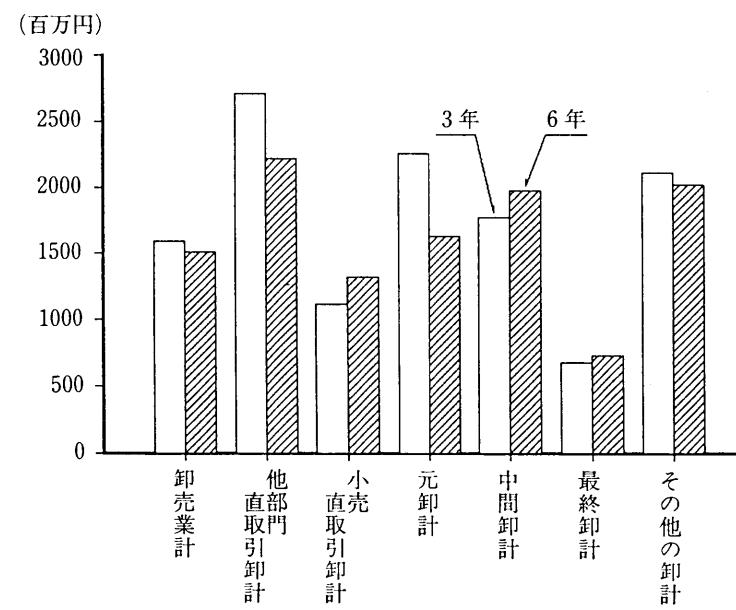
(2) 従業者1人当たりの年間販売額を流通段階別にみると(第8表、第8図)、第1次卸は直取引卸が1億1800万円、前回比▲8.9%の減少、元卸は1億2100万円、同▲27.8%の減少となり、全体では1億1900万円、同▲15.1%の減少となった。うち、国外仕入は1商店当たりの年間販売額と同様小売業者向けを除くすべての流通経路で減少、国内仕入も小売業者向けを除くすべての流通経路で減少となった。

第2次卸は中間卸が1億8000万円、同7.7%の増加、最終卸が7200万円、同3.9%の増加となり、全体では1億円で同5.5%の増加となった。

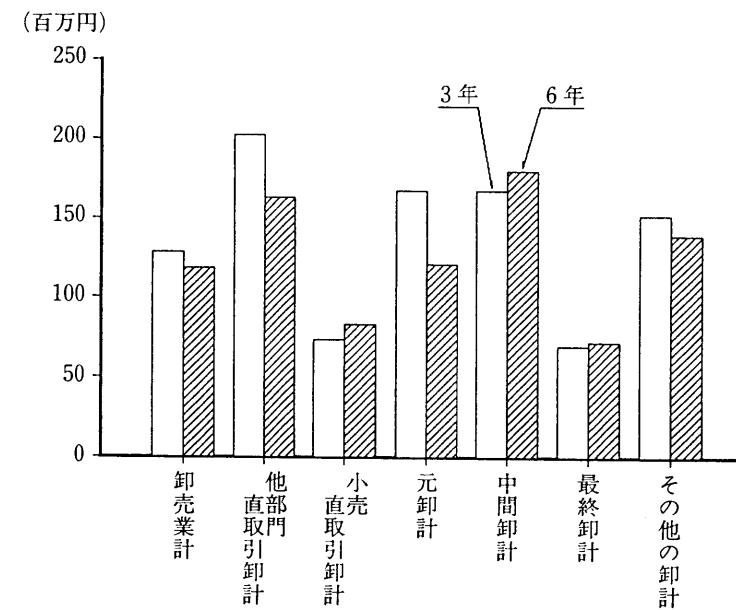
その他の卸は、1億3900万円で同▲8.2%の減少となった。

1商店当たり及び従業者1人当たりの年間販売額（販売効率）は、卸売業全体では減少傾向にある。しかし、内訳をみると中間卸が増加となっているものの、流通経路の短い小売直取引卸は引き続き2桁増、最終卸も増加に転じており、流通構造の変化がうかがわれる。

第7図 卸売業の流通段階別1商店当たりの年間販売額



第8図 卸売業の流通段階別従業者1人当たりの年間販売額

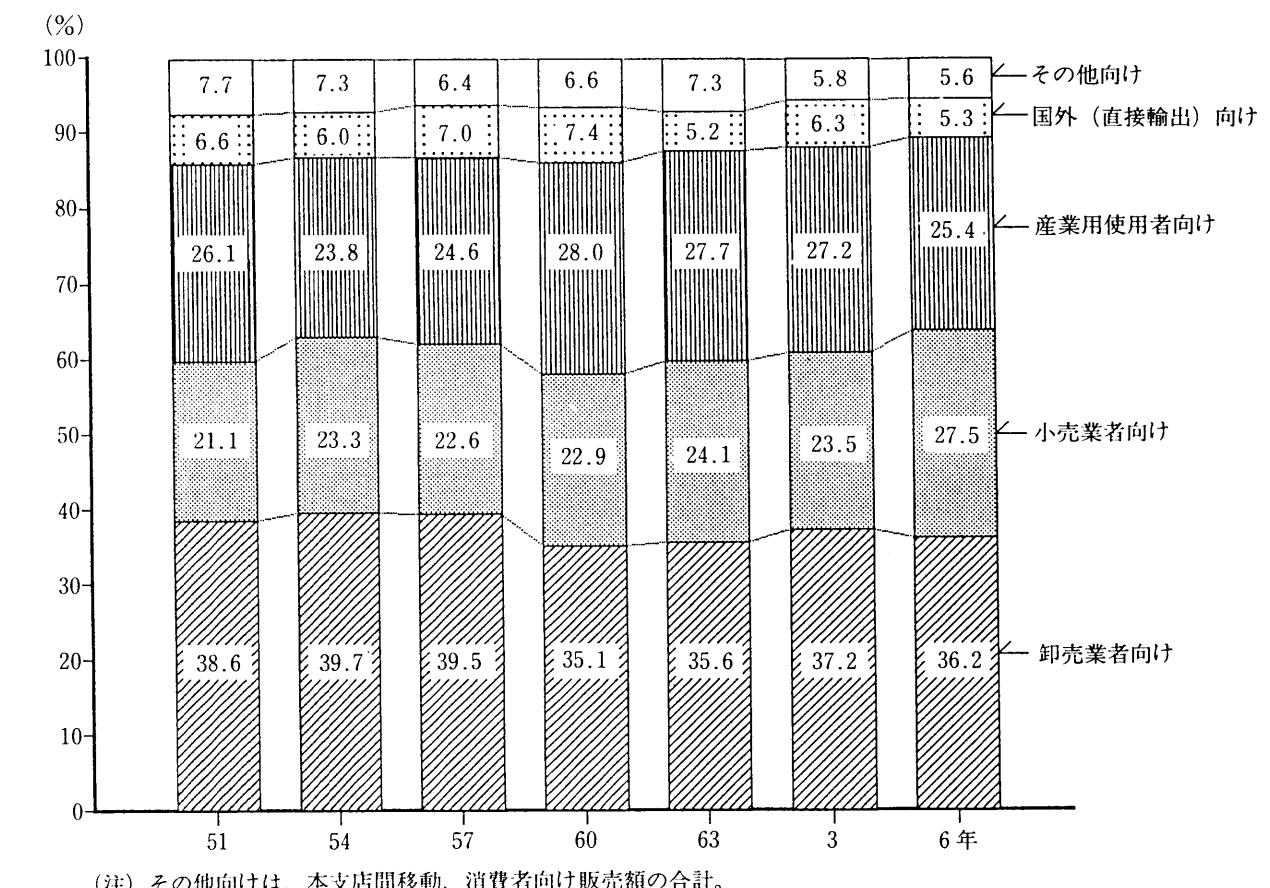


<トピックス>

—— 流通経路の短縮化が著しい消費財 ——

平成6年の卸売業（法人）は商店数、従業者数、年間販売額のいずれも平成3年の前回調査に比べて減少となっている。なかでも平成3年調査まで着実に増加を続けていた卸売業の年間販売額が減少となった背景には、バブル経済崩壊後の景気低迷が大きく影響している。販売先別シェアをみると（第1図）、最も多い販売先は卸売業者向けが構成比36.2%（前回差▲1.0ポイント縮小）で、次いで小売業者向けが同27.5%（同4.0ポイント拡大）、産業用使用者向けが同25.4%（同▲1.8ポイント縮小）となっており、小売業者向けのシェアは産業用使用者向けのシェアを上回った。

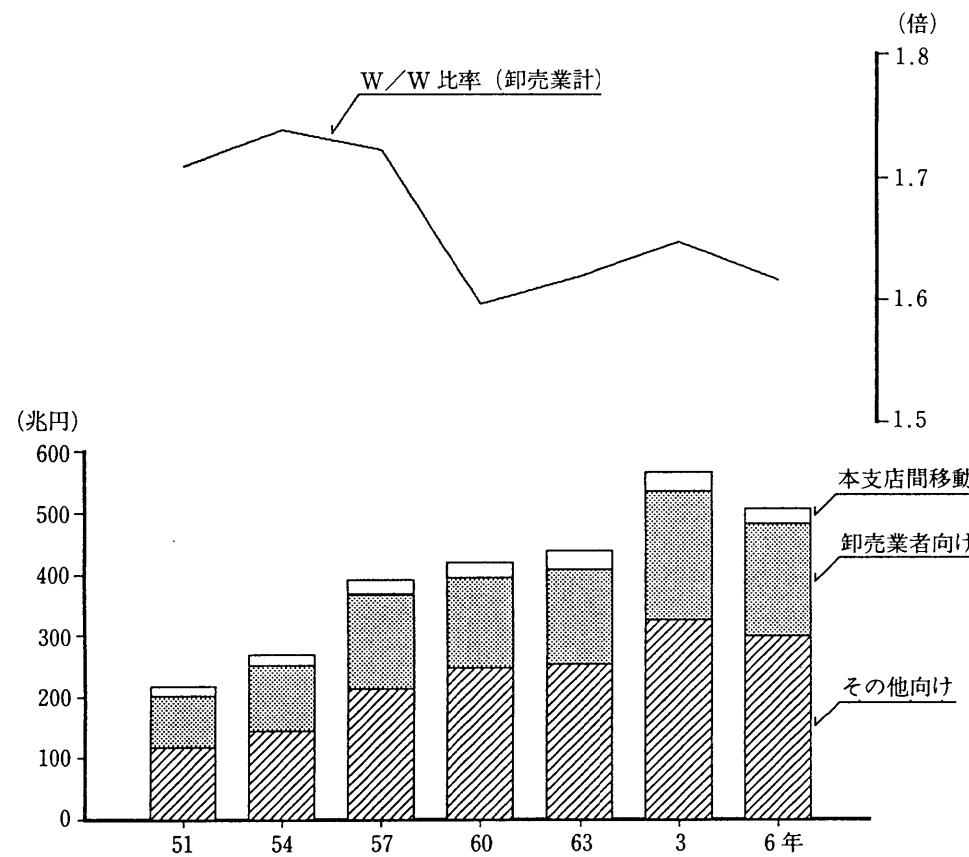
第1図 卸売業の販売先別年間販売額の推移（構成比）



(注) その他向けは、本支店間移動、消費者向け販売額の合計。

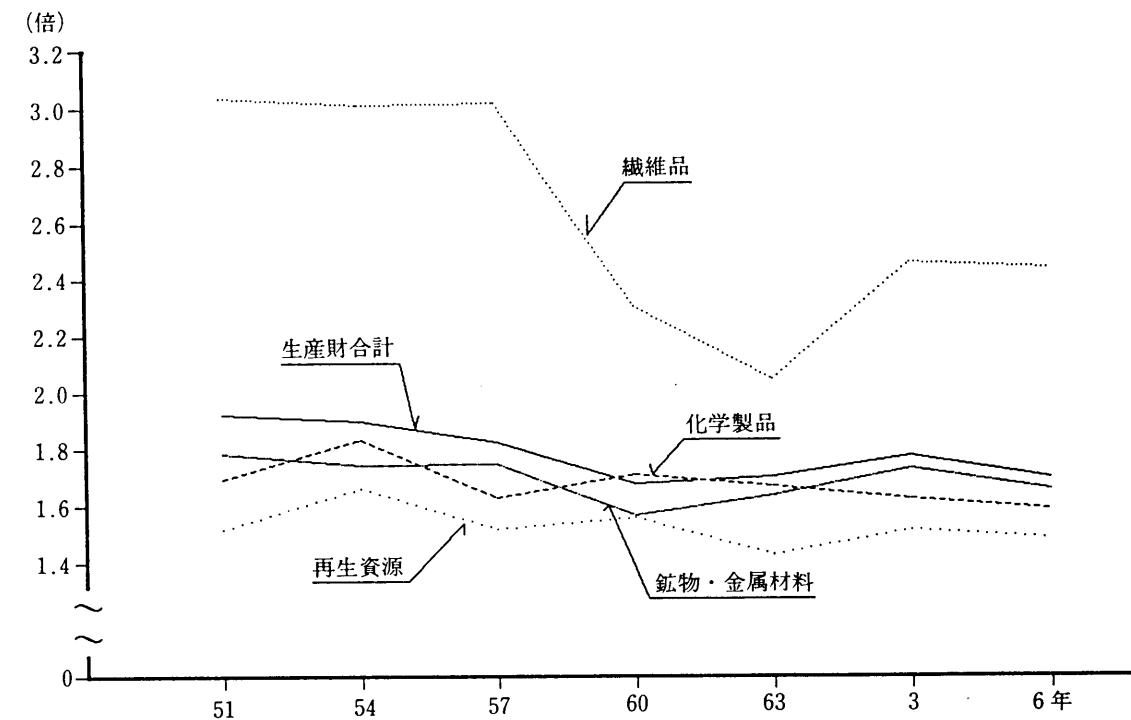
卸売業の流通経路を W/W 比率(卸売販売額から本支店間移動を除いた値を、小売業者向け、産業用使用者向け、国外向け及び消費者向けの販売額の合計額で除した比率。この比率は卸売業者と卸売業者以外への流通関係を表し、比率が1に近いほど卸売業者間の取引回数が少ない。)でみると(第2図)、昭和50年代は1.70倍台で推移していたが、昭和60年に1.60倍に低下し、以降低い水準で推移している。平成6年は W/W 比率が1.62倍で前回に比べて▲0.03ポイントの低下となっている。

第2図 卸売業の販売先別年間販売額と W/W 比率の推移



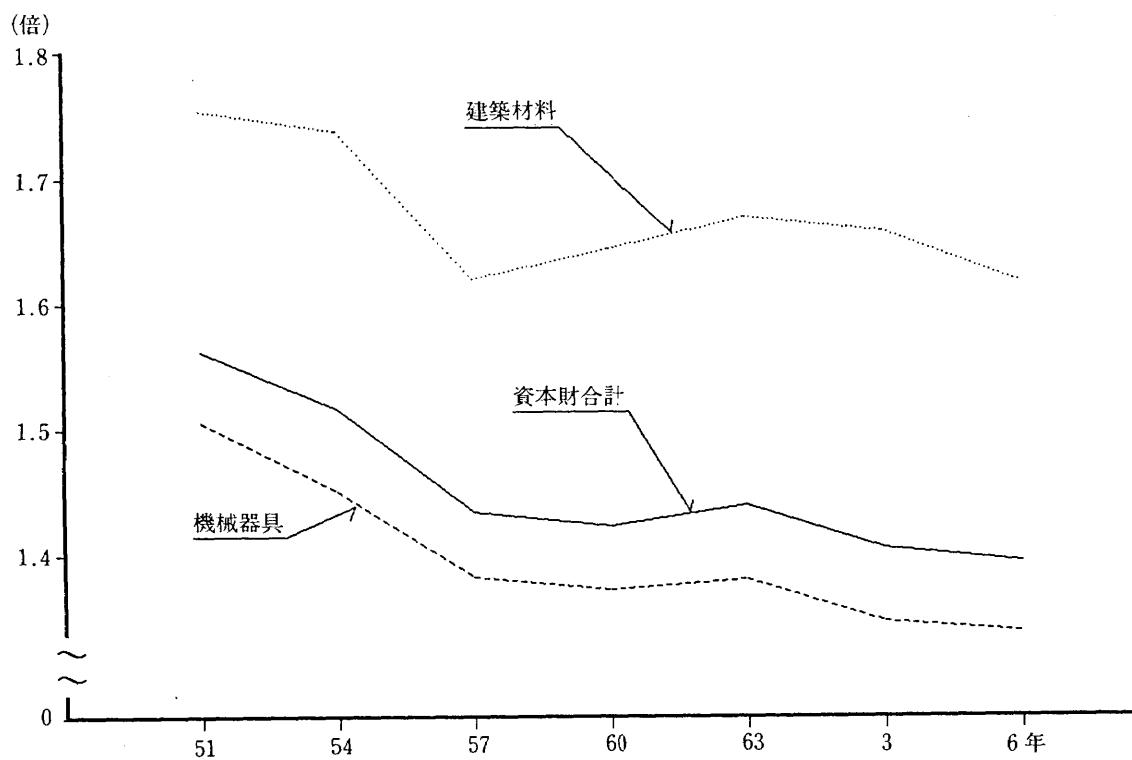
これを財別にみると、生産財は(第3図)小売業者向けのシェアが拡大した結果、 W/W 比率が1.70倍で前回に比べて▲0.07ポイントの低下となり、生産財全体では総じて短縮化傾向にあるといえる。業種別にみると、生産財に含まれる業種は繊維品卸売業、化学製品卸売業、鉱物・金属材料卸売業、再生資源卸売業の4業種あり、なかでも化学製品卸売業は、昭和60年を除けば W/W 比率が調査年毎に低下となっており流通経路の短縮化がうかがわれるが、それ以外の生産財には特に短縮化の動きはみられない。しかし、いずれの業種においても平成6年の W/W 比率は前回に比べると低下している。

第3図 生産財卸売業の W/W 比率の推移



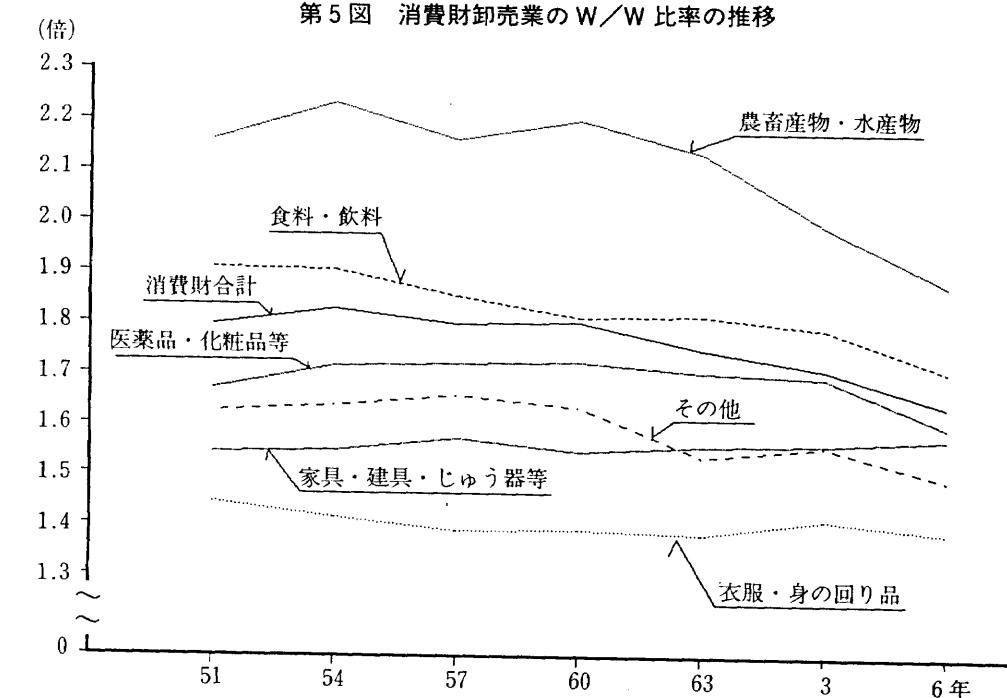
資本財は（第4図）W/W比率が1.39倍と他の財に比べて低い財であり、小売業者向け及び国外向けのシェアがわずかに拡大したため前回に比べてW/W比率は▲0.02ポイント低下している。W/W比率の推移をみると、昭和63年を除いて低下傾向にあり資本財においても短縮化がうかがえる。業種別にみると、機械器具卸売業は昭和63年を除いて調査年毎に低下しており、平成6年では1.34倍と最も低く、流通経路の短縮化が現れている。なお、機械器具卸売業は平成6年では13業種の中で最も低い業種となっている。また、建築材料卸売業も総じてW/W比率が低下傾向にあるといえる。

第4図 資本財卸売業のW/W比率の推移



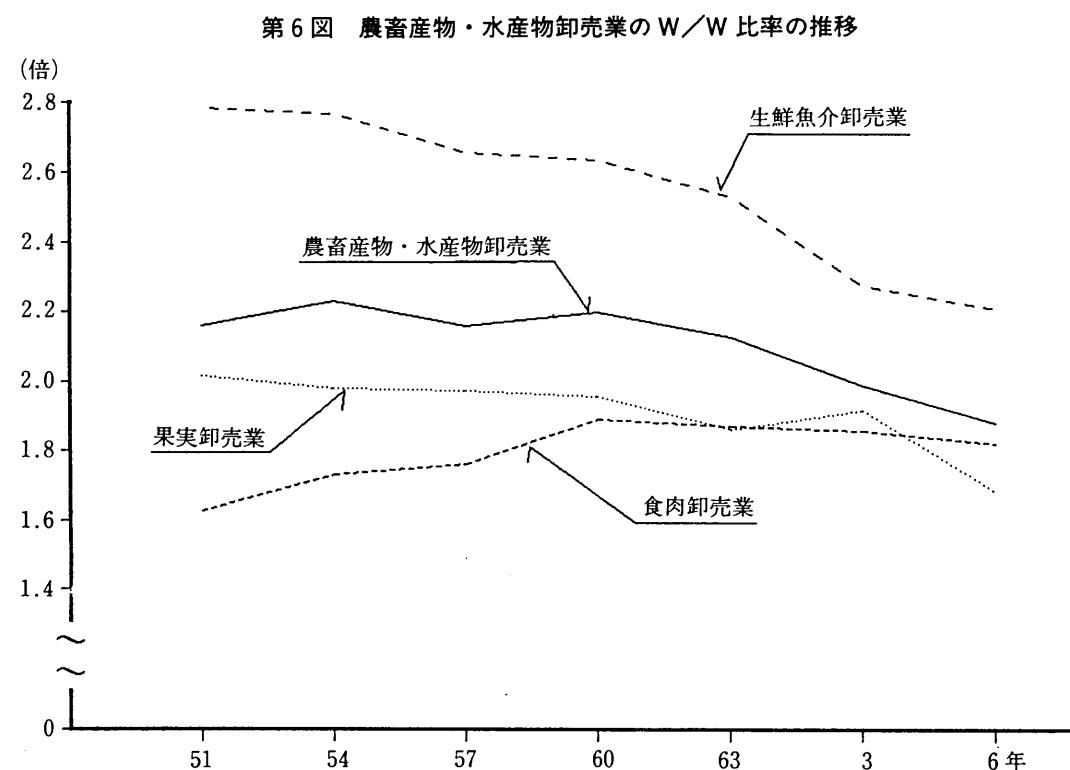
消費財についてみると（第5図）、小売業者向け及び産業用使用者向けのシェアが拡大した結果、平成6年のW/W比率は1.64倍、前回に比べ▲0.07ポイントの低下と、昭和57年以降調査年毎に低下しており流通経路の短縮化が顕著にあらわれている財といえる。消費財は衣料品関連の衣服・身の回り品卸売業、食料品関連の農畜産物・水産物卸売業、食料・飲料卸売業と、住関連の家具・建具・じゅう器等卸売業、医薬品・化粧品等卸売業、他に分類されない卸売業とに分けられる。これらの業種の動向をみると、流通経路の短縮化が明確な業種は主に食料品関連であり、食料・飲料卸売業は調査年毎にW/W比率が低下している。近年コンビニエンス・ストアやディスカウントストアなどの専門スーパーの進出など小売業の業態の変化を背景に、小売直取引卸が前回に引き続き大幅な増加となるなど流通経路の短縮化が進んでいる。農畜産物・水産物卸売業はW/W比率が低下傾向にあり、近年その低下幅が著しく、その背景には消費者のライフスタイルの変化により食品加工業や外食産業などの産業用使用者へ、商品の流通がシフトしたことなどが挙げられる。

第5図 消費財卸売業のW/W比率の推移

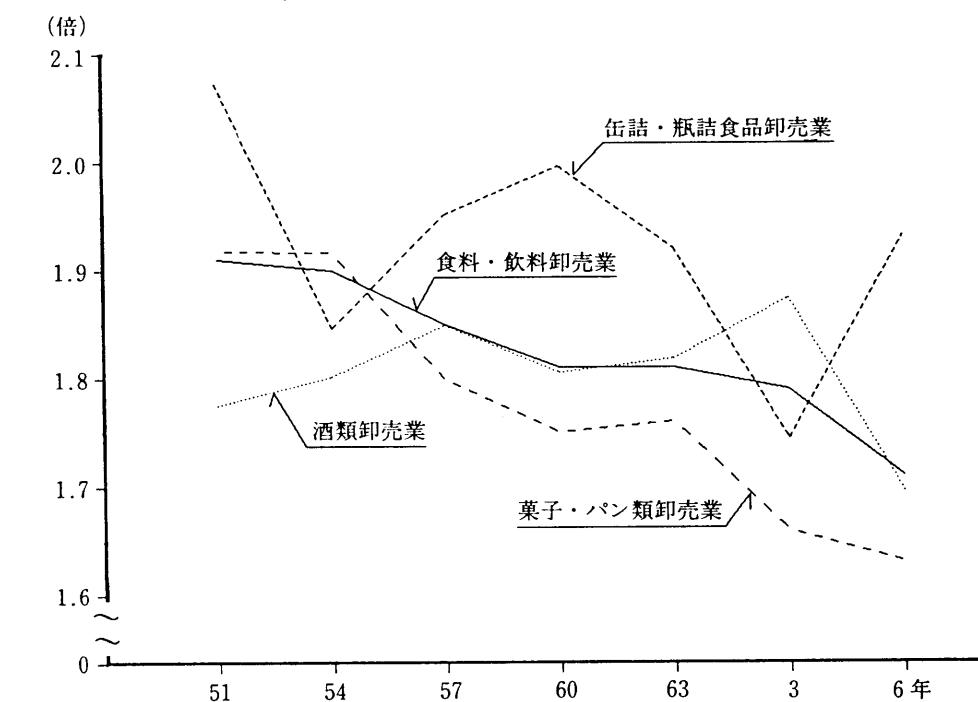


(注) 「その他」は「他に分類されない卸売業」の略

ここで、最も顕著に流通経路の短縮化がみられる農畜産物・水産物卸売業及び食料・飲料卸売業の食料品関連について W/W 比率を部門別にみてみよう。農畜産物・水産物卸売業は（第6図）野菜卸売業、果実卸売業、食肉卸売業、生鮮魚介卸売業などに分けられるが、なかでも W/W 比率が調査年毎に低下している部門は生鮮魚介卸売業で、昭和51年には2.78倍であったものが平成6年では2.21倍まで低下している。果実卸売業は低下傾向にあり（平成3年は一時上昇）、昭和51年には2.02倍であった W/W 比率が平成6年では1.68倍まで低下している。また、食料・飲料卸売業は（第7図）酒類卸売業、缶詰・瓶詰食品卸売業、菓子・パン類卸売業、清涼飲料卸売業などに分けられるが、 W/W 比率が最も低下傾向にあるのは菓子・パン類卸売業で、昭和63年に一時的に上昇となったものの、昭和51年、54年とも1.92倍であった W/W 比率が平成6年では1.63倍まで低下している。いずれの卸売業も昭和50年代では W/W 比率が大きい部門であり、 W/W 比率が大きい部門ほど流通経路の短縮化が進んでいるといえる。



第7図 食料・飲料卸売業の W/W 比率の推移



衣料品関連の衣服・身の回り品卸売業の W/W 比率は（第5図）、平成3年には上昇したものの総じて低下傾向にあり、その背景には、小売業における量販店、通信・カタログ販売の増加などによる小売業の流通変化が卸売業の流通経路にも影響を及ぼしているといえよう。

住関連をみると、家具・建具・じゅう器等卸売業以外は前回に比べて平成6年の W/W 比率が低下している。医薬品・化粧品等卸売業及び他に分類されない卸売業では W/W 比率が低下傾向にあり短縮化がうかがわれる（第5図）。なかでも医薬品は平成3年の公正取引委員会の「流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針」により、從来、メーカーが価格決定を行ってきたものを、販売価格の価格交渉が当事者間で行われるようになり、結果として流通に変化が生じてきていると考えられる。

このように卸売業における平成6年までの流通をみると、特に消費関連を中心に総じて流通経路の短縮化の傾向がみられる。

卸売業販売額の販売先別販売額と構成比の推移（法人）

(金額：10億円、構成比：%)

<一般卸売業>

| | 販 売 先 | | | | | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|------|---------|------|---------|------|----------|-----|
| | 計 | | 卸 売 業 者 | | 小 売 業 者 | | 産業用使用者 | | 国外(直接輸出) | |
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 昭和51年 | 216 669 | 100.0 | 83 548 | 38.6 | 45 799 | 21.1 | 56 522 | 26.1 | 14 192 | 6.6 |
| 54年 | 267 975 | 100.0 | 106 255 | 39.7 | 62 314 | 23.3 | 63 797 | 23.8 | 15 995 | 6.0 |
| 57年 | 390 901 | 100.0 | 154 308 | 39.5 | 88 288 | 22.6 | 96 120 | 24.6 | 27 265 | 7.0 |
| 60年 | 421 047 | 100.0 | 147 681 | 35.1 | 96 224 | 22.9 | 118 063 | 28.0 | 31 131 | 7.4 |
| 63年 | 439 268 | 100.0 | 156 586 | 35.6 | 105 697 | 24.1 | 121 889 | 27.7 | 22 899 | 5.2 |
| 平成3年 | 564 518 | 100.0 | 210 246 | 37.2 | 132 872 | 23.5 | 153 327 | 27.2 | 35 500 | 6.3 |
| 6年 | 508 701 | 100.0 | 184 169 | 36.2 | 139 916 | 27.5 | 129 208 | 25.4 | 26 928 | 5.3 |
| | | | | | | | | | | 5.6 |

(金額：10億円、構成比：%)

<繊維品卸売業>

| | 販 売 先 | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---------|------|---------|------|--------|------|----------|-----|-------|-----|
| | 計 | | 卸 売 業 者 | | 小 売 業 者 | | 産業用使用者 | | 国外(直接輸出) | | そ の 他 | |
| 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 昭和51年 | 10 173 | 100.0 | 6 639 | 65.3 | 1 552 | 15.3 | 1 324 | 13.0 | 379 | 3.7 | 279 | 2.7 |
| 54年 | 10 705 | 100.0 | 6 988 | 65.3 | 1 541 | 14.4 | 1 518 | 14.2 | 410 | 3.8 | 248 | 2.3 |
| 57年 | 12 185 | 100.0 | 7 981 | 65.5 | 1 548 | 12.7 | 1 786 | 14.7 | 604 | 5.0 | 265 | 2.2 |
| 60年 | 14 086 | 100.0 | 7 793 | 55.3 | 2 037 | 14.5 | 3 068 | 21.8 | 827 | 5.9 | 361 | 2.6 |
| 63年 | 13 642 | 100.0 | 6 821 | 50.0 | 3 037 | 22.3 | 2 789 | 20.4 | 642 | 4.7 | 352 | 2.6 |
| 平成3年 | 14 820 | 100.0 | 8 603 | 58.1 | 2 140 | 14.4 | 3 054 | 20.6 | 646 | 4.4 | 377 | 2.5 |
| 6年 | 9 289 | 100.0 | 5 304 | 57.1 | 1 208 | 13.0 | 2 081 | 22.4 | 386 | 4.2 | 310 | 3.3 |

<生産財卸売業>

| | 販 売 先 | | | | | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|------|---------|------|--------|------|----------|-----|
| | 計 | | 卸 売 業 者 | | 小 売 業 者 | | 産業用使用者 | | 国外(直接輸出) | |
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 昭和51年 | 49 600 | 100.0 | 22 951 | 46.3 | 6 271 | 12.6 | 16 867 | 34.0 | 1 446 | 2.9 |
| 54年 | 61 591 | 100.0 | 28 244 | 45.9 | 8 325 | 13.5 | 20 961 | 34.0 | 1 778 | 2.9 |
| 57年 | 89 900 | 100.0 | 39 251 | 43.7 | 13 557 | 15.1 | 30 978 | 34.5 | 2 498 | 2.8 |
| 60年 | 92 851 | 100.0 | 35 900 | 38.7 | 15 223 | 16.4 | 33 620 | 36.2 | 3 637 | 3.9 |
| 63年 | 78 676 | 100.0 | 31 210 | 39.7 | 12 503 | 15.9 | 29 238 | 37.2 | 2 505 | 3.2 |
| 平成3年 | 102 955 | 100.0 | 43 531 | 42.3 | 13 233 | 12.9 | 39 295 | 38.2 | 3 248 | 3.2 |
| 6年 | 79 183 | 100.0 | 31 601 | 39.9 | 12 846 | 16.2 | 30 128 | 38.0 | 1 947 | 2.5 |
| | | | | | | | | | | 3.4 |

<資本財卸売業>

| | 販 売 先 | | | | | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|------|---------|------|--------|------|----------|-----|
| | 計 | | 卸 売 業 者 | | 小 売 業 者 | | 産業用使用者 | | 国外(直接輸出) | |
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 昭和51年 | 46 762 | 100.0 | 15 612 | 33.4 | 9 989 | 21.4 | 14 591 | 31.2 | 2 573 | 5.5 |
| 54年 | 63 895 | 100.0 | 19 329 | 30.3 | 12 912 | 20.2 | 19 954 | 31.2 | 3 723 | 5.8 |
| 57年 | 87 328 | 100.0 | 24 747 | 28.3 | 18 721 | 21.4 | 29 553 | 33.8 | 7 732 | 8.9 |
| 60年 | 95 609 | 100.0 | 26 412 | 27.6 | 19 939 | 20.9 | 32 943 | 34.5 | 8 613 | 9.0 |
| 63年 | 114 785 | 100.0 | 32 475 | 28.3 | 27 417 | 23.9 | 38 411 | 33.5 | 6 843 | 6.0 |
| 平成3年 | 161 710 | 100.0 | 43 570 | 26.9 | 37 212 | 23.0 | 59 375 | 36.7 | 9 594 | 5.9 |
| 6年 | 142 130 | 100.0 | 37 700 | 26.5 | 33 686 | 23.7 | 50 482 | 35.5 | 10 186 | 7.2 |
| | | | | | | | | | | 7.1 |

<消費財卸売業>

| | 販 売 先 | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---------|------|---------|------|--------|-----|----------|-----|
| | 計 | | 卸 売 業 者 | | 小 売 業 者 | | 産業用使用者 | | 国外(直接輸出) | |
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 昭和51年 | 75 180 | 100.0 | 30 244 | 40.2 | 29 011 | 38.6 | | | | |

第1表 流通段階及び流通経路別の年間販売額、

| 流通段階及び流通経路 | 年間販売額(百万円) | | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------|-------|--------|--------|
| | 3年 | | 6年 | | 構成比(%) | |
| | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 | 増減率(%) | |
| 卸売部門計 | 564 518 173 | 508 700 872 | 100.0 | 100.0 | 28.8 | ▲ 9.9 |
| I 第1次卸計 | 241 136 409 | 202 401 594 | 42.7 | 39.8 | 33.9 | ▲ 16.1 |
| 直取引卸計 | 162 072 077 | 147 470 691 | 28.7 | 29.0 | 32.2 | ▲ 9.0 |
| 他部門直取引卸計 | 110 738 844 | 89 567 800 | 19.6 | 17.6 | 36.4 | ▲ 19.1 |
| ①生産業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 100 289 463 | 81 576 382 | 17.8 | 16.0 | 39.7 | ▲ 18.7 |
| ②生産業者から仕入れ国外へ販売 | 6 085 658 | 5 201 421 | 1.1 | 1.0 | 6.7 | ▲ 14.5 |
| ③国外から仕入れ産業用使用者へ販売 | 2 975 368 | 2 180 435 | 0.5 | 0.4 | 39.4 | ▲ 26.7 |
| ④国外から仕入れ国外へ販売 | 1 388 355 | 609 563 | 0.2 | 0.1 | ▲ 10.8 | ▲ 56.1 |
| 小売直取引卸計 | 51 333 233 | 57 902 891 | 9.1 | 11.4 | 24.1 | 12.8 |
| ⑤生産業者から仕入れ小売業者へ販売 | 49 728 952 | 55 948 605 | 8.8 | 11.0 | 22.5 | 12.5 |
| ⑥国外から仕入れ小売業者へ販売 | 1 604 281 | 1 954 286 | 0.3 | 0.4 | 103.9 | 21.8 |
| 元卸計 | 79 064 332 | 54 930 903 | 14.0 | 10.8 | 37.4 | ▲ 30.5 |
| ⑦生産業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 52 859 421 | 45 928 286 | 9.4 | 9.0 | 16.8 | ▲ 13.1 |
| ⑧国外から仕入れ卸売業者へ販売 | 26 204 911 | 9 002 617 | 4.6 | 1.8 | 113.0 | ▲ 65.6 |
| II 第2次卸計 | 136 536 628 | 142 020 617 | 24.2 | 27.9 | 22.7 | 4.0 |
| 中間卸計 | 62 805 947 | 66 436 061 | 11.1 | 13.1 | 51.7 | 5.8 |
| ⑨卸売業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 62 805 947 | 66 436 061 | 11.1 | 13.1 | 51.7 | 5.8 |
| 最終卸計 | 73 730 681 | 75 584 557 | 13.1 | 14.9 | 5.7 | 2.5 |
| ⑩卸売業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 32 545 253 | 30 409 807 | 5.8 | 6.0 | ▲ 13.9 | ▲ 6.6 |
| ⑪卸売業者から仕入れ国外へ販売 | 1 189 546 | 837 371 | 0.2 | 0.2 | 68.8 | ▲ 29.6 |
| ⑫卸売業者から仕入れ小売業者へ販売 | 39 995 882 | 44 337 380 | 7.1 | 8.7 | 27.8 | 10.9 |
| III その他の卸計 | 186 845 137 | 164 278 661 | 33.1 | 32.3 | 27.3 | ▲ 12.1 |
| 販売先本支店間卸 | 20 022 758 | 18 843 086 | 3.5 | 3.7 | ▲ 6.0 | ▲ 5.9 |
| 仕入先本支店間卸 | 165 949 746 | 144 395 214 | 29.4 | 28.4 | 32.9 | ▲ 13.0 |
| 仕入先自店内製造品卸 | 872 633 | 1 040 361 | 0.2 | 0.2 | 29.3 | 19.2 |

商店数、従業者数、1商店当たりの従業者数

| 流通段階及び流通経路 | 商 店 数(店) | | | | | |
|---------------------|----------|---------|-------|-------|--------|--------|
| | 3年 | | 6年 | | 構成比(%) | |
| | 3年 | 6年 | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 |
| 卸売部門計 | 354 502 | 336 794 | 100.0 | 100.0 | 13.7 | ▲ 5.0 |
| I 第1次卸計 | 121 869 | 117 863 | 34.4 | 35.0 | 12.0 | ▲ 3.3 |
| 直取引卸計 | 86 809 | 84 113 | 24.5 | 25.0 | 11.1 | ▲ 3.1 |
| 他部門直取引卸計 | 40 797 | 40 298 | 11.5 | 12.0 | 12.0 | ▲ 1.2 |
| ①生産業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 36 896 | 37 002 | 10.4 | 11.0 | 10.6 | 0.3 |
| ②生産業者から仕入れ国外へ販売 | 2 076 | 1 735 | 0.6 | 0.5 | 8.9 | ▲ 16.4 |
| ③国外から仕入れ産業用使用者へ販売 | 1 560 | 1 328 | 0.4 | 0.4 | 57.3 | ▲ 14.9 |
| ④国外から仕入れ国外へ販売 | 265 | 233 | 0.1 | 0.1 | 65.6 | ▲ 12.1 |
| 小売直取引卸計 | 46 012 | 43 815 | 13.0 | 13.0 | 10.3 | ▲ 4.8 |
| ⑤生産業者から仕入れ小売業者へ販売 | 44 053 | 41 975 | 12.4 | 12.5 | 8.5 | ▲ 4.7 |
| ⑥国外から仕入れ小売業者へ販売 | 1 959 | 1 840 | 0.6 | 0.5 | 82.1 | ▲ 6.1 |
| 元卸計 | 35 060 | 33 750 | 9.9 | 10.0 | 14.3 | ▲ 3.7 |
| ⑦生産業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 31 205 | 29 911 | 8.8 | 8.9 | 11.1 | ▲ 4.1 |
| ⑧国外から仕入れ卸売業者へ販売 | 3 855 | 3 839 | 1.1 | 1.1 | 49.1 | ▲ 0.4 |
| II 第2次卸計 | 144 419 | 137 872 | 40.7 | 40.9 | 15.2 | ▲ 4.5 |
| 中間卸計 | 35 469 | 33 557 | 10.0 | 10.0 | 21.6 | ▲ 5.4 |
| ⑨卸売業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 35 469 | 33 557 | 10.0 | 10.0 | 21.6 | ▲ 5.4 |
| 最終卸計 | 108 950 | 104 315 | 30.7 | 31.0 | 13.3 | ▲ 4.3 |
| ⑩卸売業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 47 522 | 47 440 | 13.4 | 14.1 | 7.3 | ▲ 0.2 |
| ⑪卸売業者から仕入れ国外へ販売 | 1 149 | 922 | 0.3 | 0.3 | 44.5 | ▲ 19.8 |
| ⑫卸売業者から仕入れ小売業者へ販売 | 60 279 | 55 953 | 17.0 | 16.6 | 17.9 | ▲ 7.2 |
| III その他の卸計 | 88 214 | 81 059 | 24.9 | 24.1 | 13.7 | ▲ 8.1 |
| 販売先本支店間卸 | 3 904 | 3 641 | 1.1 | 1.1 | ▲ 6.7 | ▲ 6.7 |
| 仕入先本支店間卸 | 82 702 | 75 723 | 23.3 | 22.5 | 14.7 | ▲ 8.4 |
| 仕入先自店内製造品卸 | 1 608 | 1 695 | 0.5 | 0.5 | 18.4 | 5.4 |

| 流通段階及び流通経路 | 1商店当たりの従業者数(人) | | | | | |
|---------------------|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 3年 | | 6年 | | 増減率(%) | |
| | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 | 3-63年 | 6-3年 |
| 卸売部門計 | 12.4 | 12.8 | ▲ 1.6 | 3.2 | ▲ 0.2 | 0.4 |
| I 第1次卸計 | 14.1 | 14.5 | ▲ 1.4 | 2.8 | ▲ 0.2 | 0.4 |
| 直取引卸計 | 14.4 | 14.9 | ▲ 2.1 | 3.5 | ▲ 0.3 | 0.5 |
| 他部門直取引卸計 | 13.4 | 13.7 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 0.3 |
| ①生産業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 13.5 | 13.8 | 0.7 | 2.2 | 0.1 | 0.3 |
| ②生産業者から仕入れ国外へ販売 | 10.0 | 11.1 | ▲ 11.5 | 11.0 | ▲ 1.3 | 1.1 |
| ③国外から仕入れ産業用使用者へ販売 | 14.9 | 13.7 | ▲ 3.2 | ▲ 8.1 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 |
| ④国外から仕入れ国外へ販売 | 14.5 | 12.4 | ▲ 9.9 | ▲ 14.5 | ▲ 1.6 | ▲ 2.1 |
| 小売直取引卸計 | 15.3 | 15.9 | ▲ 3.2 | 3.9 | ▲ 0.5 | 0.6 |
| ⑤生産業者から仕入れ小売業者へ販売 | 15.5 | 16.1 | ▲ 1.9 | 3.9 | ▲ 0.3 | 0.6 |
| ⑥国外から仕入れ小売業者へ販売 | 11.1 | 13.3 | ▲ 19.0 | 19.8 | ▲ 2.6 | 2.2 |
| 元卸計 | 13.5 | 13.5 | ▲ 0.7 | 0.0 | ▲ 0.1 | 0.0 |
| ⑦生産業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 13.6 | 13.7 | ▲ 0.7 | 0.7 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| ⑧国外から仕入れ卸売業者へ販売 | 12.7 | 11.7 | ▲ 3.8 | ▲ 7.9 | ▲ 0.5 | ▲ 1.0 |
| II 第2次卸計 | 10.0 | 10.3 | ▲ 3.0 | 3.0 | ▲ 0.3 | 0.3 |
| 中間卸計 | 10.6 | 11.0 | ▲ 4.5 | 3.8 | ▲ 0.5 | 0.4 |
| ⑨卸売業者から仕入れ卸売業者へ販売 | 10.6 | 11.0 | ▲ 4.5 | 3.8 | ▲ 0.5 | 0.4 |
| 最終卸計 | 9.8 | 10.1 | ▲ 2.0 | 3.1 | ▲ 0.2 | 0.3 |
| ⑩卸売業者から仕入れ産業用使用者へ販売 | 9.2 | 9.4 | 1.1 | 2.2 | 0.1 | 0.2 |
| ⑪卸売業者から仕入れ国外へ販売 | 7.3 | 7.1 | ▲ 1.4 | ▲ 2.7 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 |
| ⑫卸売業者から仕入れ小売業者へ販売 | 10.2 | 10.7 | ▲ 3.9 | 4.9 | ▲ 0.4 | 0.5 |
| III その他の卸計 | 14.0 | 14.6 | 0.7 | 4.3 | 0.1 | 0.6 |
| 販売先本支店間卸 | 30.8 | 31.8 | ▲ 11.7 | 3.2 | ▲ 4.1 | 1.0 |
| 仕入先本支店間卸 | 13.2 | 13.7 | 4.8 | 3.8 | 0.6 | 0.5 |
| 仕入先自店内製造品卸 | 11.8 | 14.1</ | | | | |

第2表 第1次卸の仕入先の国内外別年間販売額、

| 流通段階及び流通経路 | 年間販売額(百万円) | | | | | |
|----------------|-------------|-------------|--------|-------|--------|-------|
| | 3年 | 6年 | 構成比(%) | | 増減率(%) | |
| | | | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 |
| 第1次卸計 | 241 136 409 | 202 401 594 | 100.0 | 100.0 | 33.9 | ▲16.1 |
| 国内仕入(生産業者仕入) 卸 | 208 963 494 | 188 654 694 | 86.7 | 93.2 | 27.9 | ▲ 9.7 |
| 産業用使用者へ | 100 289 463 | 81 576 382 | 41.6 | 40.3 | 39.7 | ▲18.7 |
| 国外へ | 6 085 658 | 5 201 421 | 2.5 | 2.6 | 6.7 | ▲14.5 |
| 小売業者へ | 49 728 952 | 55 948 605 | 20.6 | 27.6 | 22.5 | 12.5 |
| 卸売業者へ | 52 859 421 | 45 928 286 | 21.9 | 22.7 | 16.8 | ▲13.1 |
| 国外仕入(輸入) 卸 | 32 172 915 | 13 746 901 | 13.3 | 6.8 | 91.7 | ▲57.3 |
| 産業用使用者へ | 2 975 368 | 2 180 435 | 1.2 | 1.1 | 39.4 | ▲26.7 |
| 国外へ | 1 388 355 | 609 563 | 0.6 | 0.3 | ▲10.8 | ▲56.1 |
| 小売業者へ | 1 604 281 | 1 954 286 | 0.7 | 1.0 | 103.9 | 21.8 |
| 卸売業者へ | 26 204 911 | 9 002 617 | 10.9 | 4.4 | 113.0 | ▲65.6 |

商店数、従業者数、1商店当たりの従業者数

| 流通段階及び流通経路 | 商店数(店) | | | | | |
|----------------|---------|---------|--------|-------|--------|-------|
| | 3年 | 6年 | 構成比(%) | | 増減率(%) | |
| | | | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 |
| 第1次卸計 | 121 869 | 117 863 | 100.0 | 100.0 | 12.0 | ▲ 3.3 |
| 国内仕入(生産業者仕入) 卸 | 114 230 | 110 623 | 93.7 | 93.9 | 9.8 | ▲ 3.2 |
| 産業用使用者へ | 36 896 | 37 002 | 30.3 | 31.4 | 10.6 | 0.3 |
| 国外へ | 2 076 | 1 735 | 1.7 | 1.5 | 8.9 | ▲16.4 |
| 小売業者へ | 44 053 | 41 975 | 36.1 | 35.6 | 8.5 | ▲ 4.7 |
| 卸売業者へ | 31 205 | 29 911 | 25.6 | 25.4 | 11.1 | ▲ 4.1 |
| 国外仕入(輸入) 卸 | 7 639 | 7 240 | 6.3 | 6.1 | 58.8 | ▲ 5.2 |
| 産業用使用者へ | 1 560 | 1 328 | 1.3 | 1.1 | 57.3 | ▲14.9 |
| 国外へ | 265 | 233 | 0.2 | 0.2 | 65.6 | ▲12.1 |
| 小売業者へ | 1 959 | 1 840 | 1.6 | 1.6 | 82.1 | ▲ 6.1 |
| 卸売業者へ | 3 855 | 3 839 | 3.2 | 3.3 | 49.1 | ▲ 0.4 |

| 流通段階及び流通経路 | 従業者数(人) | | | | | |
|----------------|-----------|-----------|--------|-------|--------|-------|
| | 3年 | 6年 | 構成比(%) | | 増減率(%) | |
| | | | 3年 | 6年 | 3/63年 | 6/3年 |
| 第1次卸計 | 1 723 201 | 1 704 418 | 100.0 | 100.0 | 10.3 | ▲ 1.1 |
| 国内仕入(生産業者仕入) 卸 | 1 625 135 | 1 614 057 | 94.3 | 94.7 | 8.6 | ▲ 0.7 |
| 産業用使用者へ | 498 993 | 510 124 | 29.0 | 29.9 | 11.4 | 2.2 |
| 国外へ | 20 657 | 19 240 | 1.2 | 1.1 | ▲ 4.3 | ▲ 6.9 |
| 小売業者へ | 681 409 | 674 329 | 39.5 | 39.6 | 6.1 | ▲ 1.0 |
| 卸売業者へ | 424 076 | 410 364 | 24.6 | 24.1 | 10.4 | ▲ 3.2 |
| 国外仕入(輸入) 卸 | 98 066 | 90 361 | 5.7 | 5.3 | 46.8 | ▲ 7.9 |
| 産業用使用者へ | 23 300 | 18 166 | 1.4 | 1.1 | 52.2 | ▲22.0 |
| 国外へ | 3 845 | 2 897 | 0.2 | 0.2 | 49.4 | ▲24.7 |
| 小売業者へ | 21 780 | 24 404 | 1.3 | 1.4 | 47.9 | 12.0 |
| 卸売業者へ | 49 141 | 44 894 | 2.9 | 2.6 | 43.7 | ▲ 8.6 |

| 流通段階及び流通経路 | 1商店当たりの従業者数(人) | | | | | |
|----------------|----------------|------|--------|-------|--------|-------|
| | 3年 | 6年 | 増減率(%) | | 前回差(人) | |
| | | | 3/63年 | 6/3年 | 3-63年 | 6-3年 |
| 第1次卸計 | 14.1 | 14.5 | ▲ 1.4 | 2.8 | ▲ 0.2 | 0.4 |
| 国内仕入(生産業者仕入) 卸 | 14.2 | 14.6 | ▲ 0.7 | 2.8 | ▲ 0.1 | 0.4 |
| 産業用使用者へ | 13.5 | 13.8 | 0.7 | 2.2 | 0.1 | 0.3 |
| 国外へ | 10.0 | 11.1 | ▲11.5 | 11.0 | ▲ 1.3 | 1.1 |
| 小売業者へ | 15.5 | 16.1 | ▲ 1.9 | 3.9 | ▲ 0.3 | 0.6 |
| 卸売業者へ | 13.6 | 13.7 | ▲ 0.7 | 0.7 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| 国外仕入(輸入) 卸 | 12.8 | 12.5 | ▲ 7.9 | ▲ 2.3 | ▲ 1.1 | ▲ 0.3 |
| 産業用使用者へ | 14.9 | 13.7 | ▲ 3.2 | ▲ 8.1 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 |
| 国外へ | 14.5 | 12.4 | ▲ 9.9 | ▲14.5 | ▲ 1.6 | ▲ 2.1 |
| 小売業者へ | 11.1 | 13.3 | ▲19.0 | 19.8 | ▲ 2.6 | 2.2 |
| 卸売業者へ | 12.7 | 11.7 | ▲ 3.8 | ▲ 7.9 | ▲ 0.5 | ▲ 1.0 |

